



恩智の駅前から、茶吉庵・萩原オーナーの歴史ガイドがスタート。



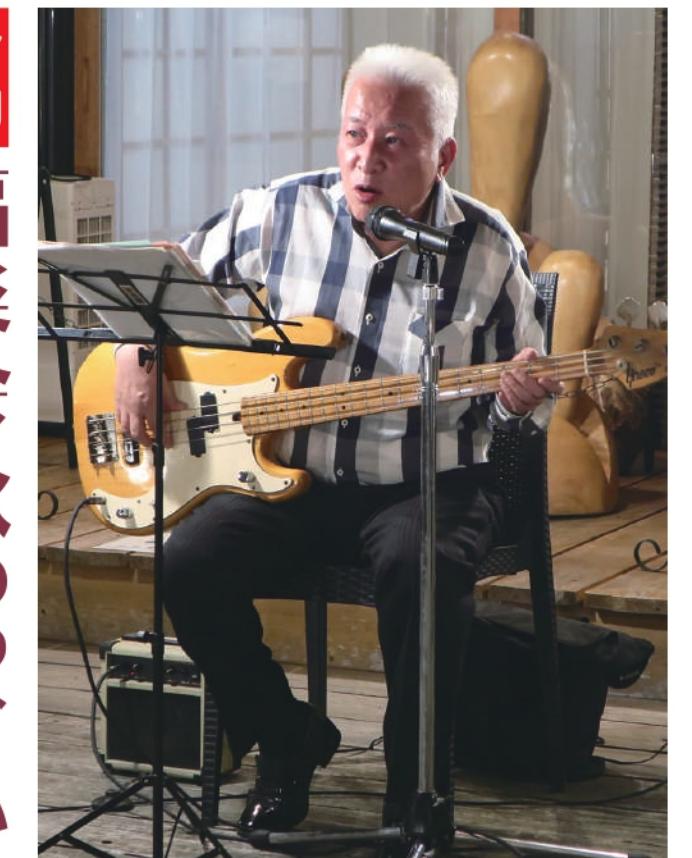
高台にある恩地城趾に向かう道

「福楽会」は私のファンクラブの名前です。しかし65才の落語家にファンクラブとはキモいでしようから、後援会と言うときます。この会は毎月21日の落語会ですが、年に1回お客様との交流の場として、「つどい」というイベント



夕空に映える茶吉庵、幻想的ですね。

## 吉例 福楽会秋のつどい

2024  
10/5

久々にベース漫談で表紙を飾らせてもらいます。滅多に観られない私の持ち芸、演るたんびにネタはコロコロ変わるんです。

お食事処での落語と

宴、路面電車を借りきつ

てのパーティー、大阪の

川面を進む遊山船、と

色々なことをしてきました。

古民家・茶吉庵での

所巡り、そして由緒ある

TPの親類ちゃいまつ

せ。バーベキューのこって

す。(わかつてゐるわい!と

いうお怒りの声も気に

せんと念の為)

午後3時半に近鉄大

阪線の恩智駅で集合

してスタート!。ご案

内は茶吉庵19代目当

主の萩原オーナーです。

この町はものすごい歴史のあることで、太古の昔から人が住んでいたそう驚きの土地なんですね。萩原オーナーから大昔の海や川の位置、旧家やお城の跡などの解説をしてもらひながら、大勢でぞろぞろ進みます。さながら民族の大移動みたいに(んなあほな)。この道行きの最後は恩智神社の参詣やつたんですけど、残念ながら行けませんでした。なんでも?歩く速度が遅おて、BBQの時間が迫つてきたから。

この町はものすごい歴史のあることで、太古の昔から人が住んでいたそう驚きの土地なんですね。萩原オーナーから大昔の海や川の位置、旧家やお城の跡などの解説をしてもらひながら、大勢でぞろぞろ進みます。さながら民族の大移動みたいに(んなあほな)。この道行きの最後は恩智神社の参詣やつたんですけど、残念ながら行けませんでした。なんでも?歩く速度が遅おて、BBQの時間が迫つてきたから。



福楽会では例年夏に奈良の古々粹亭で落語会を実施していますが、今回は奈良元林院の芸者、雛菊さんをお招きし、花街の文化を紹介しようという、意欲的な企画を立ち上げ、「芸者さんと落語の会」を開催致しました。

上方落語の『遊山船』、『親子茶屋』には大阪の花街の遊びの場面

## 芸者さんと落語の会

チケット完売御礼

2024  
8/10

### 福楽会が奈良・古々粹亭で

### 芸者さんと落語の会

チケット完売御礼

2024  
8/10

### チケット完売御礼

【お悩み】最近、犬を飼い始めました。小型犬ですが、1歳の保護犬で噛みぐせがあり、困っています。家族には舐められていますが、犬には噛まれています。なんとかなりませんか。

(宝塚市 落語家 林家染左)

**桂福楽の人生相談** どんなお悩みでもお気軽に！

【お悩み】最近、犬を飼い始めました。小型犬ですが、1歳の保護犬で噛みぐせがあり、困っています。家族には舐められていますが、犬には噛まれています。なんとかなりませんか。

舐められているのですか。犬のことは、よりこちらが大きな問題だと思いますが、この案件は又の機会に。犬は人間のように手や言葉を使えませんので、口で物を運んだり、何かを噛んでストレスを発散しています。口は犬にとって大事な役割を担うもので、さまざまな感情を表現します。人が人を噛む理由は、次のようなことがあります。あなたは犬が予期せぬタイミングでさわったことはありませんか。犬は攻撃されたと思って、防衛本能で噛むのです。それと歯が生え変わる時の違和感やむずがゆさでストレスを感じて噛むこともあります。飼い主に対するだけではなく、あなたはご家族にいます。

する甘えも原因とされます。甘えなのに強く噛む理由ですが、本来は親犬と子犬などの犬同士で加減を覚えていくのですが、親がない子には人間が教えていくしかないと考えます。体の不調を訴えている時もありますので、病院へ連れて行くと噛みぐせの謎が解けるかもしませんよ。



**門戸寄席 ユニークな企画で勝負**

KY企画主催「怪談＆快談 真夏のマニアック演芸会」 2024/8/17



私、山口さん、安田さんご夫妻、  
天然もろこしの植山ちゃんと関根ちゃん

天国のテント兄さん  
今年は命日より1日早い  
お墓参り(9月26日)



漫談家のテント兄さんがあの世へ旅立って8年が経ちました。毎年命日の9月27日には、親しかったメンバーが八尾市のお墓にお参りをしています。この兄さんとは36年に渡る長い交流が一度も途切れること無く続きました。お酒を囲んで面白おかしく語り合ったり、お家に泊めてもらったりしたものです。そして亡くなられる前日、テント兄さんと新治兄さんの3人で食事をしてカラオケに行つたのが、最後となりました。来年の9月が来れば丸9年。兄さんのギャグ「急やもん」に因んで9年目の偲ぶ会を計画中です。



熱心な落語ファンで私の会の常連さんもある、山口耕司さんの肝いりで始めていただきました。当会も、早いもので7回目です。今回はこんな会は他に無いやろ、というコンセプトを元に変わったネーミングにしました。「怪談＆快談 真夏のマニアック演芸会」見るからに怪しいタイトルでしょ。怪談はこわい話ですが、快談とは心地良い話という意味の造語です。よその会との違いを出す為に、珍しい番組を組みました。

この会では初登場の、女流漫才師の天然もろこしがゲストです。

落語。「なんやねん、それ」と言ふ人がほんんどでしょうね。これは着物を着ずに洋服で、座布団や無しに椅子に座り、扇子も手ぬぐいも持たんと、出囃子も洋楽のCD、というスタイルの落語で、30年以上前に私が考えました。今回のネタは初演で、どないなるやろと思つてましてんけど、これが大受けでした。いやいやホンマでっせ、居てたお客様に聞いてくださいよ。芸のお好みは色々ありますやろけど、このネタは又どつかで演りたいと思います。

何はともあれ、無事に幕を下ろすことが出来ました。お客様はもちろんですが、主催していただいている山口さん、席亭の安田さんご夫妻に感謝です。

次回は来年1月11日(土)午後2時開演、ゲストは腹話術の千田やすしさんで、「新春ふく笑い演芸会」。新しい年の始まりに大いに笑うてください。

■当初行かれた会は梅田の太融寺ばつかり行つてましたね。そこで春輔師匠の十三夜や、米朝一門の嘶家さんを聴いてました。

■最初に知り合つた上方の嘶家は文福師匠です。相撲の雑誌に漫画を描くことになりまして、打ち合わせにちやんこ鍋の萩屋本場所へ連れて行つてもらいました。

■それから色んな嘶家との交流が広がつていくんですねええ、梅団治さんの会のチラシのイラストや、彦八まつりの屋台でも似顔絵を描かせてもらつたり。

三代目春団治一門の情報誌「とら

■ 演芸との出会いは  
だいてあります。  
いつ頃ですか

この人に聞きたい  
お世話になるばっかりです  
教授 いわみ せいじさん

# 第八回 桂福楽の「この人に聞きたい」 私、桂福楽はお世話になるばっかりです 漫画家・大阪芸術大学教授 いわみせいじさん

A black and white photograph showing a person's hand holding a brush, painting a portrait of a man with glasses on a white surface. The portrait is in progress, with the face and hair sketched in.



【プロフィール】1960年4月2日、和歌山県海南市生まれ。大成高等学校卒業後、大阪産業大学へ進学。1980年に八潮路つとむ先生のアシスタントとなり、1981年デビュー。多数の漫画誌に4コマ漫画を連載。「和歌山さんちのハツサクくん」(ニース和歌山)の連載は長期間に渡り現在も継続中。大阪芸術大学キャラクター造形学科教授。2019年に大桑文化奨励賞受賞。

私を応援してくださる皆さんのがつどう会、こんなありがたい事はありません。  
苦しかったコロナ禍を思い出して、ほんまにそう思います。ありがとうございます。